

若者が考える東北の未来

東京でサミットで 本県の生徒ら参加

【東京支社】ビヨン
ドトゥモロー東北未来
リーダーズサミット2
013(教育支援グル
ーバル基金主催)は14
日までの3日間、東京
都内で開かれている。
震災で被災した岩手、
宮城、福島各県の高校
生や学生約80人が古里
の未来について考えて
いる。

本県からは高校生18
人と、県内高校出身の
学生11人が参加。13日
は社会人を交えて班を
つくり、復興に向けて
「魅力ある街づくり」

「東北からの発信」など
のテーマで議論した。
「被災3県の高校が
集まる文化祭を開いて
はどうか」「人口は少
ないけれど他地域と交
換留学制度をつくり、
友達が一番多い町とい
うのもいい」など、発
想力に優れた提言が出
された。

釜石高1年の浜登
美海さんは「今は東北
の未来を考えることが
生きがい。現実味のお
る案が出て、わくわく
している」と刺激を受
けた様子。震災で母と

祖父母、妹を「くして
おり、「同じ境遇の人



と話すことができ、心
強かった」と話してい
た。

~~~~~  
東北の未来への提言を  
話し合う参加者たち  
東京都渋谷区